

神奈川県議会議員 土井りゅうすけ (川崎市多摩区選出)

- ・神奈川県議会議員(4期)
- ・議会運営委員会委員
- ・総務政策常任委員会委員
- ・震災対策調査特別委員会委員
- ・予算委員会委員
- ・議会改革検討会議委員

http://www.kinet.or.jp
E-mail rdoi@kinet.or.jp



〒214-0014
川崎市多摩区登戸2663 東洋ビル7F
TEL(044)911-5200・FAX(044)911-0330



【事務所】

かながわ自民党 県議団NEWS



発行所
自由民主党神奈川県議団
神奈川県横浜市中区日本大通1
(神奈川県庁新庁舎内)
電話: 045-210-7600
http://www.kanagawajimin.jp/

〈代表質問〉

嶋村ただし(港北区)

1. 知事就任から2力間の所感について
2. 知事の基本姿勢について

1. 地方分権改革の推進について
2. 総合計画策定に係る基本的な考え方について



1. 東日本大震災について
2. 放射能被害の現状と対策について
3. 防災施策について
4. 神奈川県地域防災計画の見直しについて
5. 県土の安全対策について
6. 確実な節電対策の実施について
7. 県有施設の耐震性について

3. 東日本大震災について

1. 県域を超える広域応援体制について
2. 放射能被害の現状と対策について
3. 防災施策について
4. 神奈川県地域防災計画の見直しについて
5. 県土の安全対策について
6. 確実な節電対策の実施について
7. 県有施設の耐震性について

しきだ博昭(都筑区)

1. 大規模災害対策について



2. 医療・福祉問題について

1. タンデムマシナによる新生児マスキング検査について
2. 看護職員の確保対策について
3. 障がい者施策について

1. 県政の諸課題について
2. 雇用対策について
3. 日本人拉致問題について
4. 教科書採択について

〈一般質問〉

杉本透(足柄上郡)

1. 災害対策について



1. 平成22年の台風第九号による災害の復旧状況について
2. ア台風災害に対する全般的な認識及び酒井川の早期復旧に向けた対応について
3. 酒井川水系の静岡県側の復旧工事の状況について
4. 酒井川の河床整理について
5. 東日本大震災に伴う放射線被害について
6. 科学的根拠に基づいた茶の規制値設定を国に働きかけることについて
7. 風評被害への対応について
8. 茶葉の処分方法について
9. 地方独立法人神奈川県立病院機構における安全管理のあり方について
10. ニホンジカの保護管理計画について
11. 足柄上地域と箱根を連絡する道路の整備について

山口貴裕(厚木市)



1. 震災を踏まえた神奈川県総合防災センターの活用について
2. 行財政改革について
3. 行財政改革について
4. インベスト神奈川について
5. インベスト神奈川の波及効果について
6. 県央地域への企業誘致について
7. 産業適地の創出について
8. 神奈川R&D推進協議会を活用した中小企業の活性化について
9. 少子化への対応について
10. 子育てを巡る幅広い支援について
11. 少子化時代における待機児童対策の重要性について

八木大二郎(相模原市緑区)



1. リニア中央新幹線について
2. 具体的な駅位置の検討について
3. 県内駅へのアクセス性の向上について
4. 県内駅建設における地元負担について
5. パスポート発給事務の権限移譲について
6. 市町村への移譲に関する県の方針等について
7. 本方針の見直しについて
8. 花粉発生源対策の強化について
9. 花粉発生源対策の強化について
10. これまでの取り組みと課題について
11. 無化粉スギの開花状況について
12. 発生源対策強化に向けた方策について

常任委員会TOPIX

黒岩知事の注目政策をめぐる、2つの委員会が一時中断…今後4年の方針を徹底的に追及

環境農政常任委員会

注目のエネルギー施策 ソーラープロジェクトの進捗状況

知事は、「200万戸分のソーラーパネルを4年以内に設置する」と表明しています。

CHECK POINT

■知事が就任して3カ月。いまだ、その具体的な根拠・方策・方針が示されていない。

自民党主張
ソーラーパネルの急速な設置拡大は、予算も関係する重要な問題。いつまでに、具体的な方針を示すか、はっきりとして欲しい。

県返答
9月から始まる議会にて、具体的な取組内容などを示します。(副知事 発言)



- 主な審査内容
- ・環境保全廃棄物処理対策
 - ・緑行政の総合的推進
 - ・農林水産業の振興と指導
 - ・環境農政局などの仕事について

総務政策常任委員会

県政運営の羅針盤「総合計画」 を実行するために…

県には、総合計画という、県政運営の基本となる計画があり、それに基づいた施策を進めることになっています。(自治基本条例)

CHECK POINT

■エネルギー政策など、選挙の際に掲げた知事独自の政策がある

■本会議にて知事は、これらの政策を「総合計画とは別のプロジェクトとして進めていく」「現在の計画のまま、見直すつもりはない」と発言

自民党主張
東日本大震災の後、神奈川県にも変化が出てきている。エネルギー施策・震災対策などを含め、基本構想の見直しをするべきだ。

県返答
今回の大震災によるエネルギー環境など、社会環境の変化を受けて、改めて点検を行い、必要な見直しを行ってまいります。(副知事 発言)



- 主な審査内容
- ・県の予算の編成
 - ・県有財産の管理
 - ・県行政全般の総合計画の策定
 - ・市町村との連絡調整
 - ・基地対策

討論

議案の採決前に、課題となつていく案件に対し、賛成か反対か、会派の意見を表明することを討論といふ。

- ・総合計画について
- ・かながわソーラープロジェクトについて
- ・タンデムマシナによる新生児マスキング検査について
- ・公立高校の入学者選抜制度について
- ・東日本大震災関連
- ・(1)公共土木施設について



放射能被害

今般、文部科学省の調査依頼を受けて、県施設十二カ所において、空間放射線量が測定されましたが、今後、わが会派が求めたように、本県独自の取組として統一した検査体制をもって県内各市町村において放射線量の測定を行い、住民不安の解消に向けて対応するよう要望しました。

また、食品についても同様に検査体制の充実に努め、検査結果を公表し、県民の安全・安心につながるよう要望しました。そうした中で、県内産茶葉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたこと、あるいは被災地の肉牛から同様に放射性物質が検出された事例から食品に対する県民の不安が高まっています。このような場合には、消費者保護の観点から、汚染された食品が流通しないよう迅速な対応を行うとともに、出荷停止などの被害を受けた生産者等に対しては、十分な補償と風評被害の防止が行われるよう、国に対して対応を求めるよう、国に対して対応を求めるよう、

震災から6カ月…神奈川県防災対策は



めていくよう強く要望しました。

災害時にケガをした、その時：

本県において、災害医療の中心的役割を担う災害拠点病院は現在、三十三の医療機関が指定されています。この度の震災において、建物そのものの耐震化のみならず、津波対策が重要な課題となりました。さらにこうしたハード面における整備に加え、災害拠点病院間の「連携」が極めて重要であることから、病院間のネットワークを構築し、災害時医療救護体制の充実・強化を図るよう要望しました。

また、災害時における医薬品や食料等の備蓄、さらには自家発電装置を動かすための燃料の備蓄などについても、あらゆる角度から検証を加え、万全の体制を整備するよう要望しました。

災害震災対策調査特別委員会 報告

5月に「震災対策調査特別委員会」を設置してから現在までの議論・今後の課題について、正副議長へ中間報告しました。

自民党が指摘した主な課題

- ・放射能測定強化及び情報開示
- ・放射能被害茶葉生産者の支援
- ・放射能汚染下水道汚泥対策
- ・液化化被害支援
- ・LED普及
- ・市町村等との連携強化
- ・地域防災計画の見直し
- ・帰宅困難者対策
- ・県有施設防災対策の強化

今回の大地震を教訓とした取組はまだ始まったばかりで、今後の施策展開の行程も見えてこない状況です。我々は、今後も神奈川県民の取組を注視し、県民の生命と財産を守るという観点から、様々な審議を尽くします。

「絆」継続して支援



7月下旬、自民党県議団の有志二十四名で、宮城県へ視察に行きました。到着後、被害の大きかった石巻漁港をはじめとする石巻市内・女川町の街の様子を見学。その後、被災者の方々と津波の体験談や防災について

被災地視察

てのご意見を伺いました。また、宿泊した女川町のホテルには、全国各地からのボランティア、警備にあたられている警察関係の方々が宿泊されている。遠方では九州からの車両もあり、日本の「絆」を感じました。

翌日は女川原発へ。緊急時の対応について説明を受け、シミュレーション訓練を視察しました。今後、東北・日本の復興に向けての支援を継続し、県内の災害対策に努めます。

公立高校の入学選抜制度

神奈川県公立高等学校入学選抜制度改善方針案が示されました。

教育 新しい学習指導要領にあわせて「新しい学力」を試す工夫？

■提案された内容

- ・中学校から県立高校への推薦入学廃止
- ・複数の機会が与えられていた入試が、1回のみ入試機会に
- ・学校独自の入試問題は作成せず、共通の入試問題に
- ・定時性・通信制も定員の8割までは、共通の入試日において選考

→今後も検討を重ねるよう要望

新生児マス・スクリーニング検査

昨年度より、タンデムマス法による新生児マス・スクリーニング検査を推進するよう議会で取り上げています。

医療 安心して子供を産み・育てる環境づくりに大きな期待

■発言内容

- ・検査実施に向けた検討状況と今後の取組みについて

■知事発言

- ・県内のすべての新生児が検査を受けられるよう、今年度後半の事業開始を目指す

→充実した事業の実施に取り組むよう要望

平成23年第2回定例会スケジュール(予定)&傍聴のご案内

9月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

＜本会議＞

受付時間：通常12時30分より
※開催中は随時受け付けます
受付場所：県庁新庁舎8階
定員：210名(先着順)

＜常任委員会・特別委員会・決算特別委員会＞

受付時間：当日午前10時まで
(定員に達しない場合は延長)
受付場所：県庁新庁舎5階 議政局議事課
定員：16名
(10時の時点で定員を超えた場合は抽選)

●…本会議 ●…常任委員会 ●…特別委員会
●…決算特別委員会 ●…会期中 ●…調査日

10月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

□本会議

政策調査課調査情報グループ
045-210-7564

□常任委員会・特別委員会・決算特別委員会
議事課委員会グループ
045-210-7546

お問合わせ